

平成 30 年度

民生委員ケアマネ連絡会



と き：平成 31 年 1 月 15 日（火）

10:00～11:30

と ころ：吉 根 公 民 館

いきいき支援センターでは、地域の高齢者を支援する民生委員様とケアマネジャーの顔の見える関係作りを目指して、毎年連絡会を開催しています。

この度は、吉根民生委員児童委員協議会様のご協力を得て、みだしの連絡会を開催しました。

＜内容＞ 1 部：民生委員児童委員の活動と吉根学区の紹介
地域支えあい事業の紹介
ケアマネジャーの役割と事例紹介

2 部：交流会（グループワーク）

＜参加者＞ 45 名（内：民生児童委員 6 名、地域支えあい事業 2 名）



吉根学区



＜学区の特色＞

・見守り訪問対象者 55 名(内/のみ世帯 20 件)。子どもは新入生 100 名あり。現在、高齢化率は低いが、毎年 20 名程増加の見込み。・民生主催のふれあいサロンは毎回 30 名程の参加あり。学区主催のさわやか会は 50 歳以上の方が対象で 20 名程の方が健康教室を楽しく学んでいると伺いました。

＜交流会＞

・民生さんの活動とケアマネ業務を共有し、課題となった緊急時の対応や連絡先については、いきいき支援センターが仲介するとスムーズに連携が図れる等、意見ができました。

＜地域支えあい事業＞

・吉根学区の支えあい事業実施状況について、生活支援活動の実績（67 件）を基に具体的な内容を知ることができ、また、ご近所ボランティアコーディネーターさんから活動報告を伺って、ケアマネジメント実践において貴重な地域資源情報を頂きました。・地域貢献の担い手の方々に感謝致します。

平成30年度第3回ケアマネサロン

12月18日(火)

13:30~15:30

1部:コグニサイズ 2部:サクサク事例検討

守山区在宅サービスセンター内3階研修室においてみだしのサロンを開催しました。

1部は、ハマダスポーツ企画(株)長谷川圭亮氏の指導のもと、頭と体を使うコグニサイズを楽しみ、日頃の業務の疲れを癒しました。また、運動の大切さを改め実感し、セルフケアの方法を学びました。

2部は、地域の主任ケアマネジャーをファシリテーターとして相談事例についてグループワークを実施し、事業所の枠を越えたケアマネジャー同士の交流を図りました。



毎日コツコツ 健康のコツは
コツコツ健康 肩甲骨!
家でも職場でも こつこつ体操
健康で働きたい!

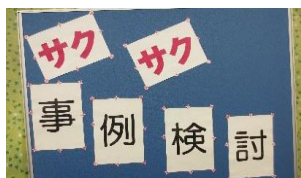


参加事業所28件 参加者42名(CM24名、主任 CM10名、いきいき8名)
〈アンケート結果抜粋〉

- ・コグニサイズ/体を動かしてリラックスできた。肩もほぐれとても楽しめた。
- ・事例検討/CM:自分とは違う視点での意見が聞けて良い展望があった。

課題をまとめ、解決方法を引き出すように努めてもらった。

主任 CM:ファシリテーターがきちんとできているか不安だが経験を積んでいきたい。



H30年度 第2回

ケアマネ勉強会

「障害者差別解消法」と名古屋市障害者差別相談センターについて

日時：11月20日（火）13：30～15：30

会場：アクロス小幡3階研修室

参加者：38名（内いきいき関係者10名）

講師：障害者差別相談センター 神村 昌克氏

“不当な差別的取り扱いの禁止”や“合理的配慮”の事例を基に具体的に学びました。生活の中で感じる障がいに関してさらなる関心を広げ共感、共有し考察すべき内容だと思います。今後の業務に活かせるようこの機会を大切にしたいと思いました。



平成30年度 本地丘学区民生委員・ケアマネ連絡会

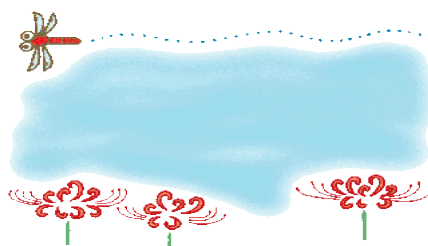
日時:平成30年9月21日(金)10:30~12:00

場所:本地荘第一集会所

参加者:本地丘学区民生委員 8名

居宅介護支援事業所

(いきいき支援センター含む) 29名



本地丘学区の民生委員と、本地丘学区にお住まいの利用者を担当しているケアマネジャーの交流会を開催いたしました。

民生委員の役割の一つとして、65歳以上の独居、75歳以上の高齢者世帯への訪問があります。親身になってくださる民生委員の方が多く、気になるお宅へは月1回程度訪問しているそうです。民生委員の負担は大きくなっているにもかかわらず、地域の住民を支えてくださっている状況をお聞きすることができました。ケアマネジャーはなかなか地域の情報を知ることが難しいので、この会で情報を得ることができたという意見が多数ありました。

地域を支える民生委員、個別支援を行うケアマネジャーが連携を図ることで、高齢者が安心して生活できる地域づくりができるのではないかと改めて感じることができました。



平成30年度第1回事例検討会

家族丸ごと支援とケアマネジメント

～多職種多機関連携事例に学ぶ～

講師：笠松町地域包括支援センター センター長 荒木 篤 氏

日時：平成30年9月11日(火)13:30～16:30

場所：守山区在宅サービスセンター内 3階 研修室

ケアマネジメント業務において高齢化が進む現代は、家族機能の低下もあって様々な問題を抱える家族が多く、ご本人の支援と共に、家族全体を丸ごと支援していくことが求められると言われていいます。そこで今年度は、笠松町地域包括支援センター長・日本福祉大学ケアマネジメント技術研究会 荒木 篤氏を講師にお招きし見出しの事例検討会を実施しました。

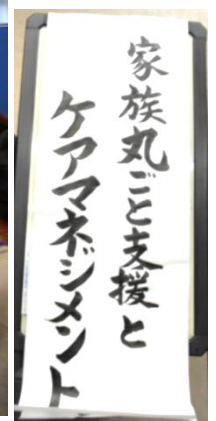
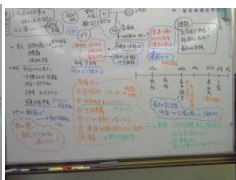
前段の講演では、家族がエンパワメントされるために、私達ケアマネジャー側に家族の全体像を捉える視点や方法が必要であることを学び、後段は提出事例に基づき「多職種多機関連携」を視点として、事例を深めるための質問や連携先についてグループワークを実施しました。

利用者が抱える課題をひとつひとつ整理し、ケアマネジャーが一人で抱え込まずに、適切な機関に相談し連携する手法を改めて学びました。

参加事業所/35事業所 参加者/62名

<アンケート意見抜粋>

- ・本人家族の思いに気づくために、ライフストーリーや時代背景にも思いをはせて想像する力や感じる力をもつ重要性に気付かされた。
- ・講師の「ケアマネがその家族の支援に入ること、煮詰まった家族の支えになる」との言葉が心に残った。
- ・家族も環境、本人や家族の持っている力や関係を把握し、世帯全体を見通すことで介入の糸口を探り支援することが大切と知った。



平成30年度 第2回 ケアマネサロン

7月13日（金）に平成30年度第2回ケアマネサロンを区役所講堂で開催しました。

今回は守山区内のグループホーム13箇所の施設の職員の方々にお願いし、各施設の特徴についてプレゼンをしていただきました。

それと共に『守山区グループホーム推進のための有志の会』の活動報告を協力医のおはなばたけクリニック 花谷崇院長よりいただきました。名刺交換をして、ケアマネの方々と顔の見える関係作りをしていただきました。



平成30年度 ケアマネ勉強会

日時：平成30年6月15日（金）

午後1時半～3時半

場所：守山区役所 講堂

参加者：102名

今回は守山区役所民生子ども課保護係林美雄係長に講師をお願いし、生活保護制度について勉強会を開催しました。

生活保護の扶助の種類やしきみ・申請時の書類等分かりやすくお話いただきました。又ケースワーカーの仕事内容・役割についてもお話があり、担当のケースワーカーと上手にコミュニケーションをとる事が必要だと言うことを学びました。

